

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【公表番号】特表 2015-507284 (P2015-507284A)
 【公表日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-015
 【出願番号】特願 2014-553386 (P2014-553386)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/20 (2006.01)
 C 0 9 K 5/04 (2006.01)
 H 0 5 K 7/20 (2006.01)
 H 0 1 L 23/427 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 6 0 C
 C 0 9 K 5/04
 H 0 5 K 7/20 R
 G 0 6 F 1/00 3 6 0 A
 H 0 1 L 23/46 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

使用中に少なくとも 2 次元の複数の向きに可動であるハウジングと、
 前記ハウジング内に配設される熱発生コンポーネントと、
 前記ハウジング内に配設される熱伝達装置とを備えており、
 前記熱伝達装置は、熱伝導及び相転移を利用して前記熱発生装置から熱を伝達するよう
 に構成される複数のヒート・パイプを有しており、前記複数のヒート・パイプは、前記複
 数の向きを介した前記ハウジングの移動中に前記熱発生コンポーネントから略均一な熱伝
 達を提供するように配置される、
 装置。

【請求項 2】

前記複数のヒート・パイプは、略反対の方向に配置される第 1 及び第 2 のヒート・パイ
 プを含む、
 請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記複数のヒート・パイプは、第 1 及び第 2 のヒート・パイプを含み、
 第 1 及び第 2 のヒート・パイプのそれぞれは、蒸発部及び凝縮部を有し、
 第 1 及び第 2 のヒート・パイプの前記凝縮部は、前記第 1 及び第 2 のヒート・パイプの
 前記蒸発部よりも互いから遠くに位置付けされる、
 請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ハウジング内に配設された複数のファンをさらに備えており、それによって、前記
 複数のヒート・パイプの少なくとも 2 つのヒート・パイプが、それぞれの前記ファンによ

って冷却される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

ディスプレイ装置をさらに備えており、前記ハウジングは、前記ディスプレイ装置が、ランドスケープ向きにおいてユーザが視認できる少なくとも 1 つの向きをとるように構成され、前記複数のヒート・パイプの少なくとも 2 つのヒート・パイプは、前記ランドスケープ向きにあるときに略水平に配置される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ハウジングは、使用中に、ユーザの一方又は両方の手によって保持され、前記少なくとも 2 次元の向きに移動されるように構成される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記ハウジングはモバイル通信装置として使用するために構成される、

請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記複数のヒート・パイプのそれぞれは、単一拡散板の使用を介して前記熱発生装置に熱的に結合される、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記熱発生コンポーネントは処理システムであり、装置はコンピュータ装置である、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

第 1 及び第 2 のヒート・パイプを備えており、第 1 及び第 2 のヒート・パイプは、熱伝導及び相転移を利用して、第 1 及び第 2 のヒート・パイプに近接して配設される熱発生装置から熱を伝達するように構成され、第 1 及び第 2 のヒート・パイプは、前記熱発生装置から略反対の方向に配置される、

熱伝達装置。